



Buddycom 機能
ユーザーガイド v1.0.1
LINE WORKS API 2.0 連携編



※日々バージョンアップを行っているため、本ユーザーガイド記載の画面と実際の画面が異なる場合があります。

改訂履歴

日付	バージョン	内容
2023/4/25	1.0.0	初版
2024/1/10	1.0.1	LINE WORKS 開発元の社名変更(ワークスマイルジャパン株式会社から LINE WORKS 株式会社)

目次

1	機能	1
2	LINE WORKS とは.....	1
3	LINE WORKS と Buddycom の連携	1
4	LINE WORKS 連携の設定	3
4.1	API 2.0 の追加（LINE WORKS Developer Console）	4
4.2	Bot の登録（LINE WORKS Developer Console）	7
4.3	Bot の追加（LINE WORKS Admin）	9
4.4	トークルーム設定（LINE WORKS トーク）	11
4.5	キーの登録（Buddycom 管理コンソール）	12
4.6	AI・アプリ連携の設定（Buddycom 管理コンソール）	14
4.7	グループへの割り当て（Buddycom 管理コンソール）	16
5	制限事項/注意点.....	18
6	付録.....	18

※この機能は、Talk Enterprise プランまたは Livecast Enterprise プランで、利用できます。

1 機能

AI・アプリ連携機能で、LINE WORKS との連携を設定すると、LINE WORKS と Buddycom のアプリ間でコミュニケーションが可能になります。

2 LINE WORKS とは

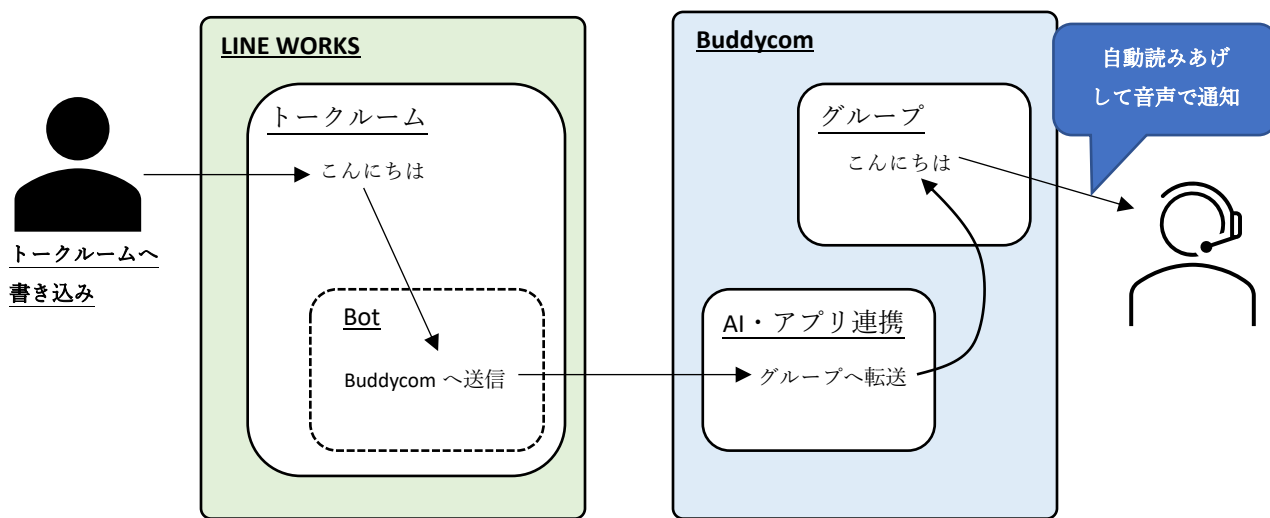
LINE WORKS 株式会社が提供する、チャットやスタンプ、掲示板、カレンダー、アドレス帳、アンケートなど、現場で活用できる充実したグループウェア機能を揃えたビジネスチャットです。

3 LINE WORKS と Buddycom の連携

LINE WORKS と Buddycom を連携することで、LINE WORKS で入力したテキストの Buddycom への音声による通知と、Buddycom で発話した内容を LINE WORKS にテキストで通知する相互連携が実現できます。

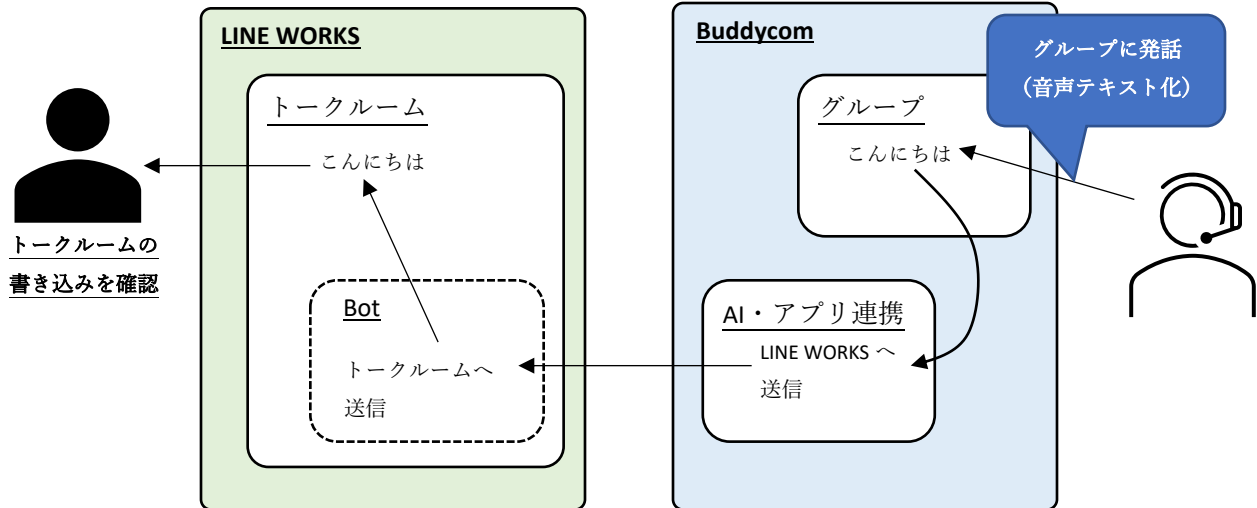
(1) LINE WORKS から Buddycom への連携

LINE WORKS のトークルームに書き込むと、Buddycom ユーザーが音声で受信できます。



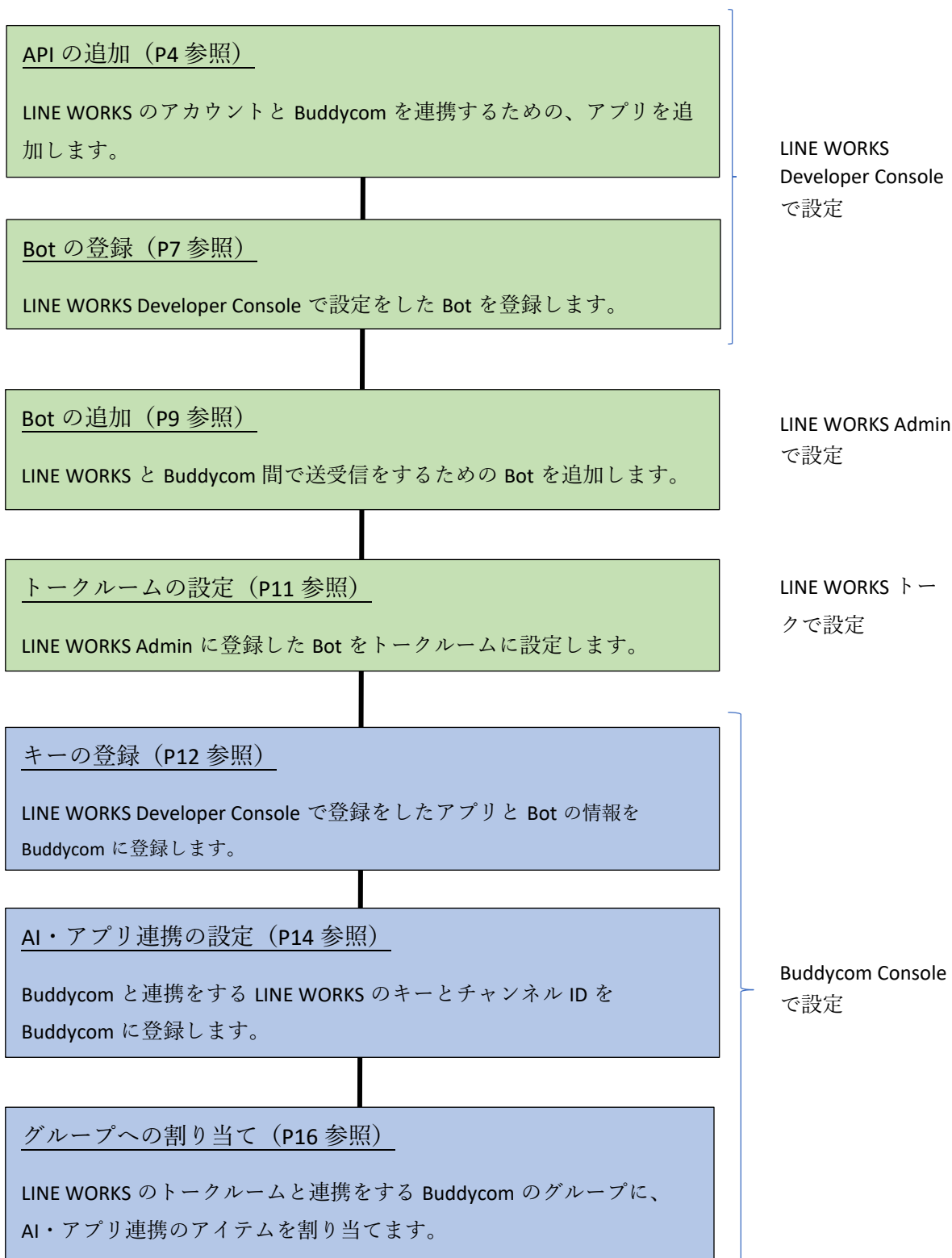
(2) Buddycom から LINE WORKS への連携

Buddycom で発話またはテキストの送信を行うと、LINE WORKS のトークルームでテキストを受信できます。



4 LINE WORKS 連携の設定

以下の手順に従って設定してください。



4.1 API の追加 (LINE WORKS Developer Console)

LINE WORKS のアカウントと Buddycom を連携するための、アプリを発行します。

4.1.1 LINE WORKS の Developer Console にログインします。

<https://developers.worksmobile.com/>

LINE WORKS の Developer Console 権限を持っているユーザーにて設定が可能です。権限については LINE WORKS のアカウント管理者にお問い合わせください。

4.1.2 LINE WORKS Developer Console API のアプリを作成します。

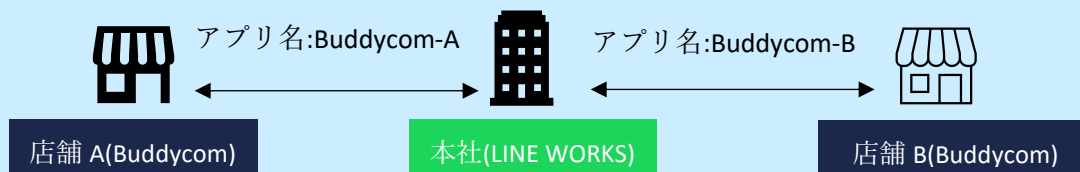
「API」画面の「アプリの新規追加」をクリックすると、「アプリの新規追加」画面が表示されるので、アプリ名を入力して「追加」をクリックします。



複数の Buddycom テナントと連携する場合

1つの LINE WORKS アカウントに対して、複数の Buddycom テナントと連携する場合は、それぞれの Buddycom テナント用にアプリを追加する必要があります。この場合は、どの Buddycom テナント用に使うアプリなのかが分かるようなアプリ名を推奨します。

例



アプリの追加が完了すると「アプリ情報」画面が表示されます。

LINE WORKS Developer Console サポートBuddycom | support@science-arts ログアウト

Console

- API
- Bot
- 組織連携
- API Statistics
- SSO
- SAML Apps
- IPT
- API 1.0(提供終了予定)

Domain ID : [REDACTED]
Tenant ID : [REDACTED]

アプリ情報

OAuth2.0ベースの認可システムを利用できます。 アプリ情報を入力してください。

アプリ名

- 入力できる文字数は20字です。
- 既存のアプリと同じ名前は使用できません。

アプリの説明

Client ID [REDACTED]

Client Secret [REDACTED]

Redirect URL

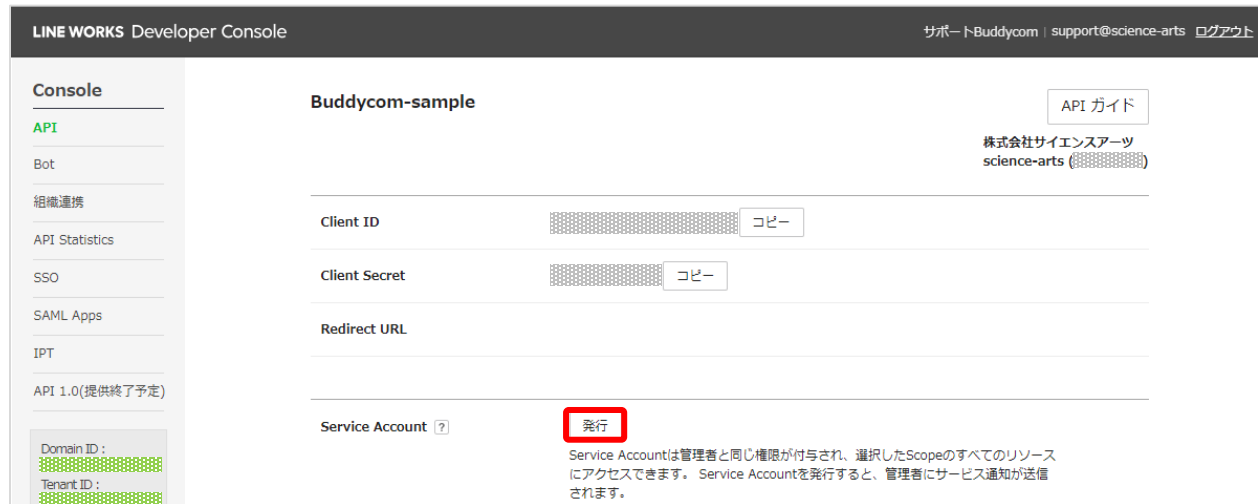
OAuth Scopes

- bot
- user.profile.read

以下の設定をして「保存」をクリックします。

項目名称	設定内容
アプリ名	「アプリの新規追加」画面で入力したアプリ名が表示されています。変更したい場合は、この画面でアプリ名を入力します。 ※Buddycom 用のアプリの設定と分かるように「Buddycom」を含む名称を設定することをお奨めします。
アプリの説明	アプリの説明を入力します。
Client ID	自動生成されたクライアント IDが表示されています。 ※この情報は、Buddycom 管理コンソールでキーの登録を行うときに使用します。
Client Secret	自動生成されたクライアントシークレットが表示されています ※この情報は、Buddycom 管理コンソールでキーの登録を行うときに使用します。
Redirect URL	追加しないでください。
OAuth Scopes	「管理」をクリックして「OAuth Scope の選択」画面から「bot」と「user.profile.read」にチェックをして保存します。

作成したアプリの「Service Account」と「Private Key」を発行します。
「Service Account」の「発行」ボタンをクリックし、表示された注意メッセージの「OK」を選択すると、アカウントが発行されます。



「Private Key」の「発行/再発行」ボタンをクリックし、表示された注意メッセージの「OK」を選択すると「Private Key」の key ファイルがダウンロードされます。



「Client ID」「Client Secret」「Service Account」「Private Key」は Buddycom 以外のサービスに利用しないでください。

他のサービスと併用すると、Buddycom との連携が動作しなくなります。

4.2 Bot の登録 (LINE WORKS Developer Console)

4.2.1 Bot の登録をします。

Bot 画面の「登録」ボタンをクリックします。



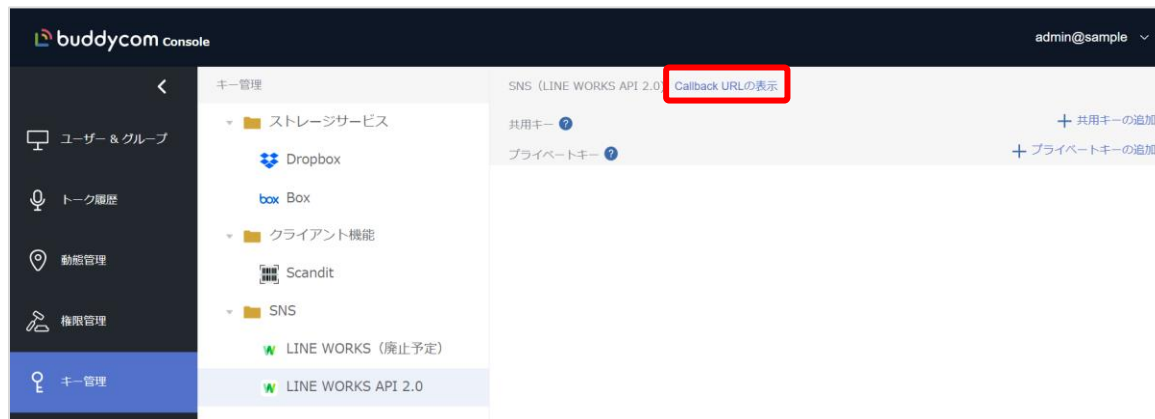
以下の設定をして「保存」をクリックします。

項目名称	設定内容
プロフィール画像	トーク画面で BOT を識別するための画像を設定します。 ※Buddycom のアイコンを設定する場合は付録に記載の URL をご参照ください。
Bot 名	任意の名前を入力します。
説明	登録する Bot の説明を任意で入力します。
Bot ID	自動生成されます
API Interface	API 2.0 を選択してください。
固定メニュー	設定不要です。
Callback URL	On にして、URL に Buddycom 管理コンソールで取得 (※1) した LINE WORKS API2.0 の Callback URL を設定してください。 また、メンバーが送信可能なメッセージタイプとして、「テキスト」にだけチェックをつけてください。
Bot ポリシー	「複数人のトークルームに招待可」にチェックをつけてください。
「管理者」主担当	任意のユーザーを指定してください。
「管理者」副担当	必要に応じて任意のユーザーを指定してください。

※1) Buddycom 管理コンソールでの LINE WORKS API2.0 の Callback URL の取得方法

Buddycom 管理コンソールの「キー管理」画面の「LINE WORKS API 2.0」を開きます。

「Callback URL の表示」をクリックして、表示された URL をコピーします。



4.3 Bot の追加 (LINE WORKS Admin)

4.3.1 LINE WORKS Admin にログインします。

<https://admin.worksmobile.com/>

4.3.2 登録した Bot の追加をします。

「サービス」の「Bot」画面を開き、「Bot 追加」をクリックします。

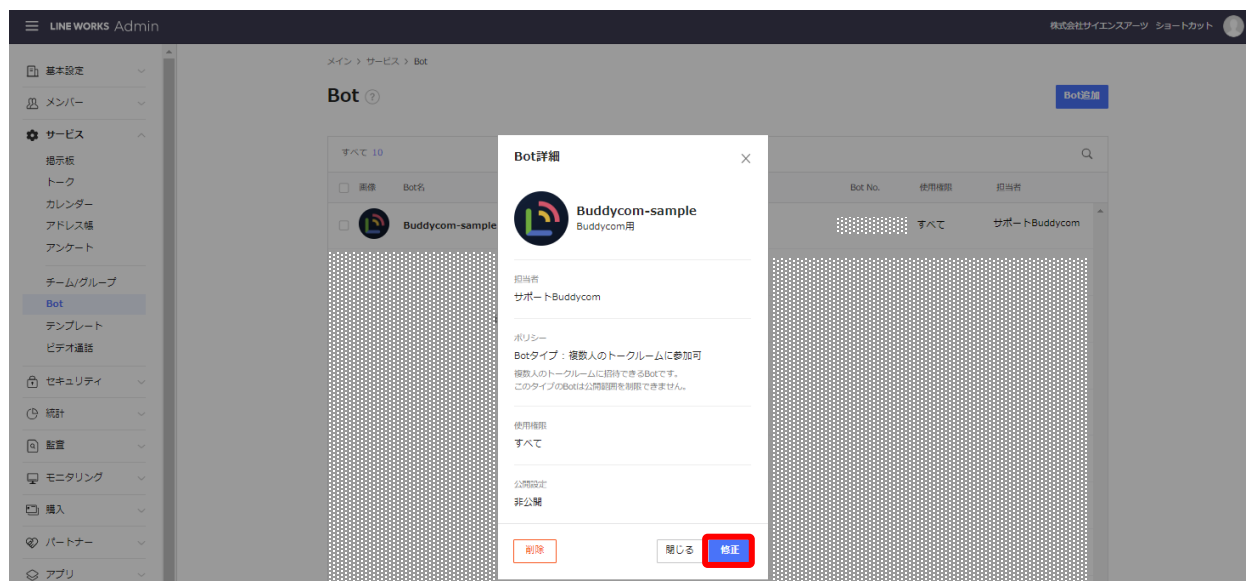


LINE WORKS Developer Console で登録した Bot の一覧から、4.2 で登録した Bot の「追加」をクリックします。

Bot が追加されたら「前に戻る」をクリックし、Bot の一覧画面に戻ります。



追加した Bot を選択し、「Bot 詳細」画面を開き、「修正」をクリックします。



「公開設定」を ON にして「保存」をクリックします。



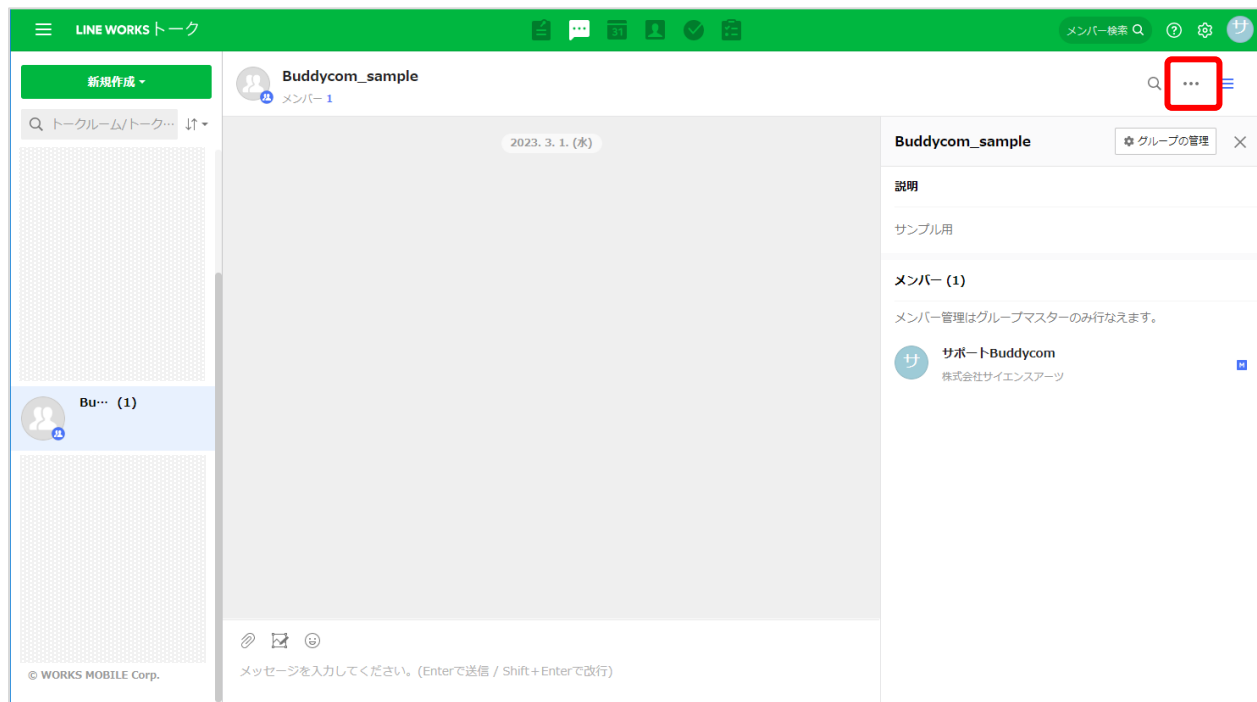
4.4 トークルーム設定（LINE WORKS トーク）

4.4.1 LINE WORKS トークにログインします。

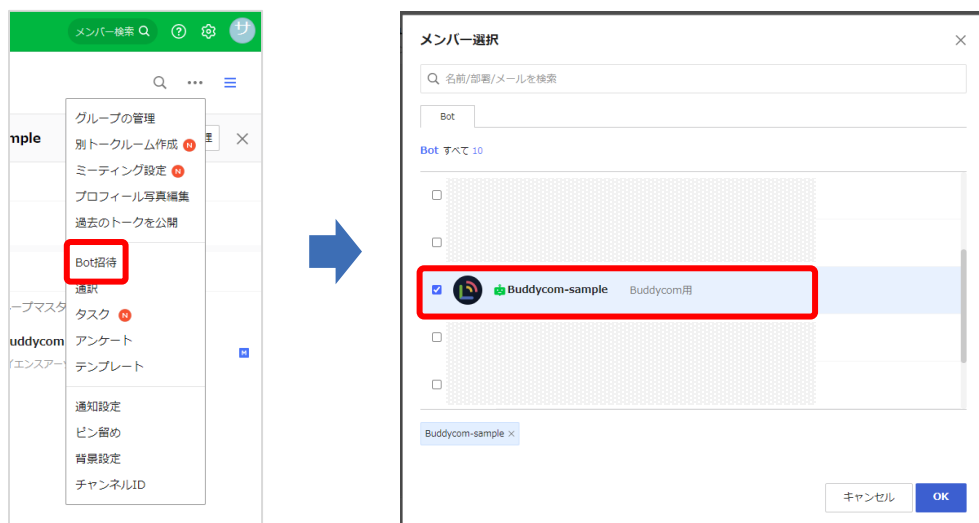
<https://talk.worksmobile.com/>

4.4.2 登録した Bot をトークルームに設定します。

Buddycom との連携を行うトークルームまたはグループを選択し、画面右上の「…」をクリックします。



「Bot の招待」をクリックし、メンバー選択画面の Bot 一覧から、LINE WORKS Developer Console で登録した Bot を選択し、「OK」をクリックします。



4.5 キーの登録 (Buddycom 管理コンソール)

LINE WORKS Developer Console で登録をしたキーを Buddycom に登録します。

4.5.1 Buddycom 管理コンソールにログインします。

<https://console.buddycom.net>

管理コンソールには「管理者ユーザー」でログインしてください。

「管理者ユーザー」のログイン ID、パスワード情報は、テナント開設時のお知らせメールに記載されています。

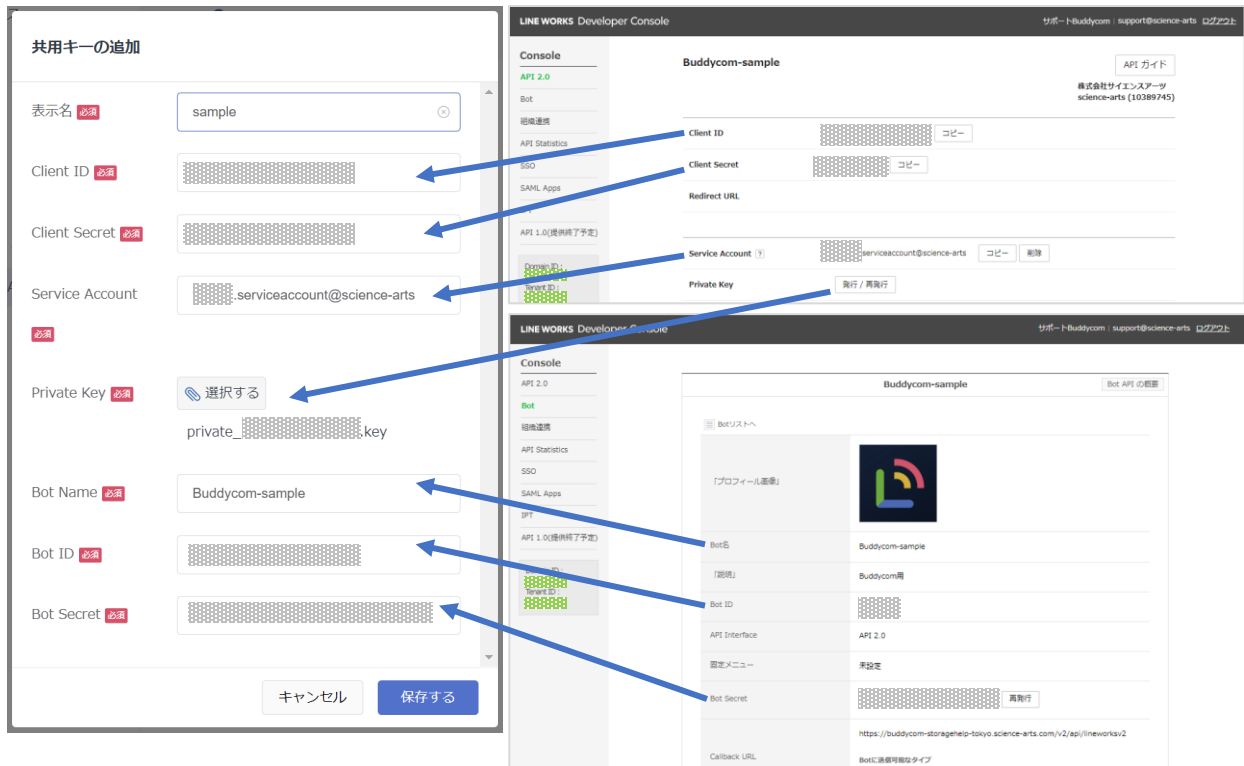
4.5.2 キーの追加をします。

キーを追加する際には、「共用キー」と「プライベートキー」のいずれかを選択できます。ここでは、「共用キー」を登録する手順を説明します。

「共用キー」と「プライベートキー」について

設定	登録したキーの利用制限
共用キー	管理コンソールにログインするユーザーで、キーを共用する場合に使用します。 共用キーには、LINE WORKS API のキーを1つだけ登録できます。
プライベートキー	登録を行うユーザー(管理コンソールにログインするユーザー)ごとに異なるキーを利用する場合に使用します。 ユーザー毎に、LINE WORKS API のキーを1つ登録できます。また、テナント管理者はすべてのプライベートキーを利用できます。





以下の設定をして「保存」をクリックします。

項目	設定内容
表示名	任意の名前を入力します。※このキーの識別子になります。
Client ID	4.1.2 で追加した LINE WORKS API 2.0 用アプリの「Client ID」を入力します。
Client Secret	4.1.2 で追加した LINE WORKS API 2.0 用アプリの「Client Secret」を入力します。
Service Account	4.1.2 で追加した LINE WORKS API 2.0 用アプリの「Service Account」を入力します。
Private Key	4.1.2 で追加した LINE WORKS API 2.0 用アプリの「Private Key」を入力します。
Bot Name	LINE WORKS Developer Console の Bot 画面の「Bot Name」を入力します。
Bot ID	LINE WORKS Developer Console の Bot 画面の「Bot ID」を入力します。
Bot Secret	LINE WORKS Developer Console の Bot 画面の「Bot Secret」を入力します。

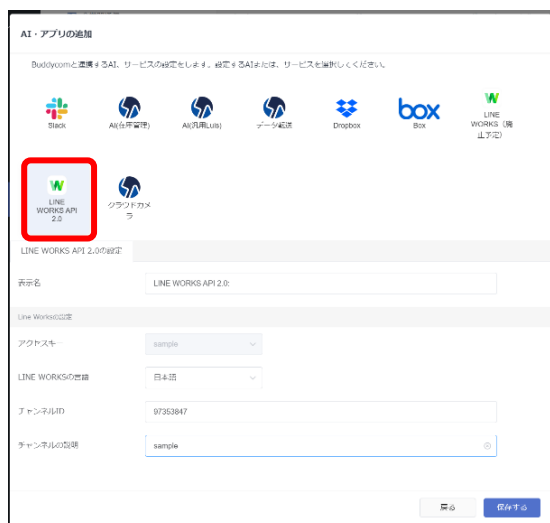
4.6 AI・アプリ連携の設定（Buddycom 管理コンソール）

Buddycom と連携をする LINE WORKS のアプリと Bot の情報を登録します。

設定画面の「AI・アプリ連携」の画面右側に表示された「追加」をクリックします。

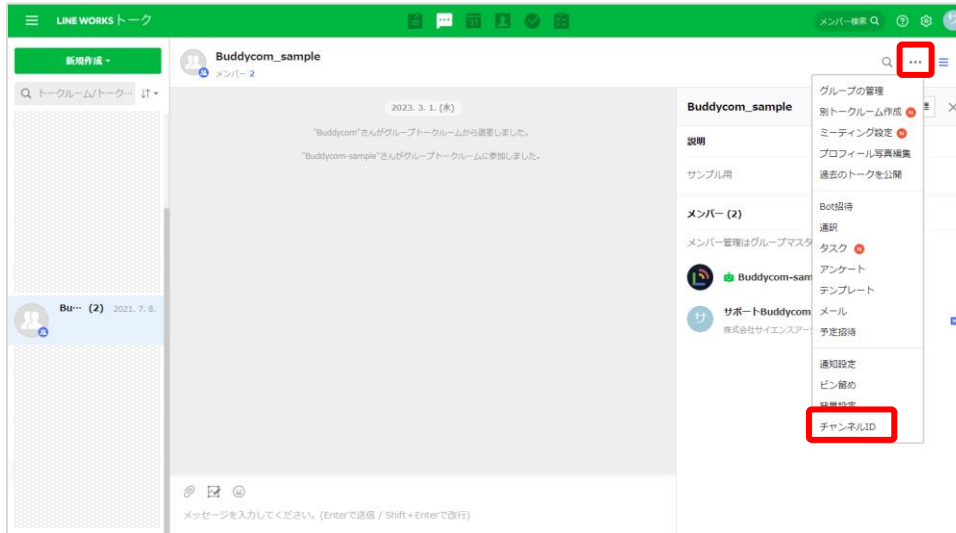


「AI・アプリの追加」画面の「LINE WORKS API 2.0」を選択し、以下の設定をして「保存」をクリックします。



項目	設定内容
表示名	任意の名前を入力します。 ※このキーの識別子になります。
アクセスキー	LINE WORKS のキー登録時に設定した「表示名」を入力します。登録したキーが1つの場合は固定となりますが、複数のLINE WORKS アカウ ントとの連携を行い、キーが複数ある場合には、設定を行うキーを選 択します。
LINE WORKS の言語	LINE WORKS で利用する言語を選択します。
チャンネル ID	LINE WORKS トークから「チャンネル ID」を取得(※2)して、入力しま す。
チャンネルの説明	登録するチャンネルの説明などを任意で入力します。

※2) 「チャンネル ID」は「LINE WORKS トーク」画面で、Buddycom との連携を行うトークルームまたはグループの画面右上の「…」ボタンをクリックし、「チャンネル ID」を表示して取得してください。



複数のトークルームで Buddycom との連携をする場合

Buddycom との連携をするトークルームを増やす場合は、「AI・アプリ連携の設定 (Buddycom 管理コンソール)」の追加設定をしてください。

AI・アプリの追加画面にて、各種項目を1つ目のトークルームの設定と同様に入力し、「チャンネル ID」のみ、追加で設定する LINE WORKS の「チャンネル ID」を入力します。



※LINE WORKS Developer Console や LINE WORKS Admin にてキーの複数設定は必要ありません。

4.7 グループへの割り当て（Buddycom 管理コンソール）

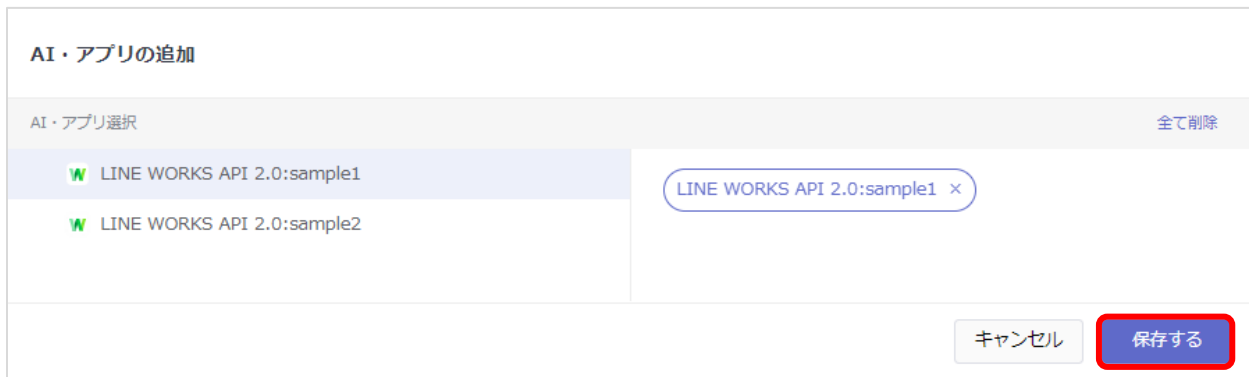
LINE WORKS のトークルームと連携をする Buddycom のグループに先ほど設定をした AI・アプリ連携のアイテムを割り当てます。グループへの割り当てには「グループの編集画面」、「AI・アプリ連携画面」の 2 つの方法があります。

4.7.1 方法 1：「グループの編集画面」から割り当てる

ユーザー&グループ画面にて LINE WORKS 連携をするグループを選択し、AI・アプリタブの「AI・アプリの追加」をクリックします。



AI・アプリの追加画面にて、先ほど設定をした LINE WORKS を選択し、「保存する」をクリックします。



4.7.2 方法2：「AI・アプリ連携画面」から割り当てる

設定画面にてAI・アプリ連携をクリックし、連携を行うLINE WORKSの「割り当て」をクリックします。



選択したLINE WORKSの割り当て画面にて、データの保存先を変更したいグループを選択し、保存をします。



これで連携は完了です。

5 制限事項/注意点

- ・ Buddycom のグループに誰もログインしていない（通話を受信していない）場合は、LINE WORKS のトークルームから送信されたメッセージは Buddycom のグループに受信されません。また、Buddycom のグループで受信されなかったトークルームのメッセージは、Buddycom 管理コンソールの通話履歴にも残りません。
- ・ LINE WORKS Developer Console にて発行をしたアプリの情報アプリ情報（Client ID, Client Secret, Service Account, Private Key）は、Buddycom との連携が正常に動作しなくなる恐れがあるため、使いまわさないようにご注意ください。
- ・ 「音声テキスト化」オプションを利用しない設定のグループでは、LINE WORKS 連携（AI・アプリ連携の割り当て）ができません。
- ・ LINE WORKS のユーザーと Bot が1対1（ロボットマークの付いている）のトークルームでは、LINE WORKS から送信されたメッセージは Buddycom では受け取ることはできません。

6 付録

- ・ Bot のプロフィール画像

LINE WORKS Developer Console の Bot 登録時に「プロフィール画像」に Buddycom のアイコンを設定する場合は、こちらの画像をご利用ください。



<https://www.science-arts.com/downloads/buddycom/buddycom.png>